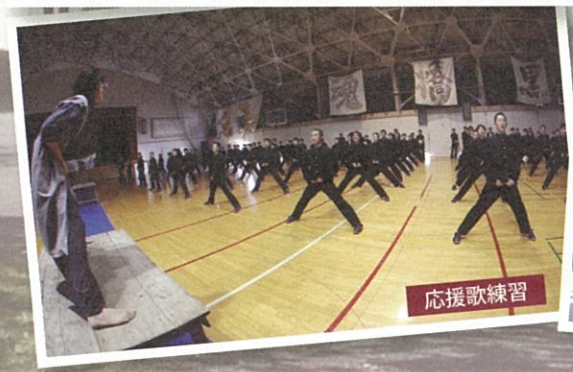
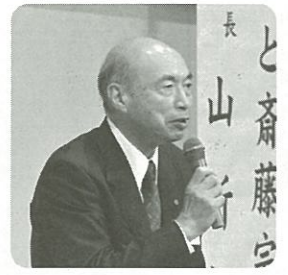


桜雲舎



第61号
 発行
 岩手県立花巻北高等学校
 桜雲同窓会事務局
 TEL 0198-23-4135 FAX 23-1354
<http://www2.iwate-ed.jp/hkn-h/>
 印刷 (株)菊忠印刷



「巖鷲山は峨々として」 のもと共に歩む

桜雲同窓会長

佐藤 良介

桜雲同窓生の皆様には、平素より本同窓会の活動に對しまして、温かいご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本同窓会は現在東京、関西、仙台の県外三支部を含む十七支部で、母校の発展のための支援と、会員相互の交流と親睦を図ることを目的として活動しております。

私が各支部の総会に出席しても強く感じることは、同窓生の皆様の花巻北高に対する母校愛の強さであります。そして、その拠り所となつてゐるのが「巖鷲山は峨々として」で始まる校歌ではないでしょうか。

よく大先輩の方々が、「今日は校歌を歌うのを楽しみに同窓会に出席しました」というお話をなさいますが、あの校歌を目を輝かせて歌う皆様の表情がとても印象的であります。

この校歌を作詞されたのが、初代校長の佐藤昌先生であります。先生は、札幌農学校の卒業生ですが、札幌農学校の一期生でクラーク博士から直に薫陶を受け、後に北海道大学初代総長を務め、「北大の父」と称されている佐藤昌先生のお甥に当たります。

昭和六年組合立花巻中学校開校に際し、花巻出身の大先輩である佐藤



昌介先生に初代校長の推薦をお願いしたところ、幾多の候補者の中から、佐藤昌先生をご推薦頂き、初代校長として着任されたのでした。

佐藤昌校長が、教育の目標として掲げたのが、「中学教育は立派な公民をつくること目的である」ということでした。それは「地域社会に貢献する人材の育成」ということであり、今まで本校の教育の目標として脈々と受け継がれております。

同窓会としても、地域社会、国際社会に貢献する人材の育成のため、母校を支援して参りたいと存じますので、皆様のさらなるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

定期総会報告

平成三十年年度の桜雲同窓会定期総会

は、平成三十年八月四日(土)十四時から、ホテルグランシエール花巻において開催されました。来賓に花巻市長、校長、副校長、事務局長、花巻南高校同窓会長、花巻北高校PTA会長、副会長をお迎えし、同窓生約二四〇名の参加を得て行われました。

〈協議事項〉

- ①平成二十九年年度事業報告について
- ②平成二十九年年度一般会計収支決算について
- ③平成二十九年年度周年事業積立金収支決算について
- ④平成二十九年年度国際交流事業積立

金収支決算書について

- ⑤平成三十年年度事業計画(案)について
- ⑥平成三十年年度一般会計収支予算(案)について
- ⑦平成三十年年度周年事業積立金収支予算(案)について
- ⑧平成三十年年度国際交流事業積立金収支予算(案)について
- ⑨役員改選について
- ⑩二〇一九年度版同窓会員名簿について

協議事項は、すべて議案書どおり承認されました。続く講演会では、講師に山折哲雄

氏(関西桜雲同窓会会長・宗教学者・十四期)をお迎えし、『宮沢賢治と斎藤次郎』と題してご講演を頂きました。

懇親会は、同窓生の音頭による応援歌唱などで盛り上がり、最後は校歌を斉唱し、盛会のうちに会を終えました。

○支部総会開催状況

- 関西支部 六月十六日
- 盛岡支部 七月十八日
- 石鳥谷支部 八月一日
- 東京桜雲会 十月十三日
- 紫波支部 十一月十日
- 東和支部 十一月十日
- 花巻北西支部 十二月七日

平成29年度桜雲同窓会一般会計収支決算書

平成29年6月1日～平成30年5月31日 単位:円

＜収入の部＞			
項目	予算額A	決算額B	増減B-A
繰越金	927,184	927,184	0
入会金	3,585,000	3,397,000	△188,000
会費	300,000	705,000	405,000
寄付金	0	588,750	588,750
雑収入	7,816	17	△7,799
合計	4,820,000	5,617,951	797,951

＜支出の部＞			
項目	予算額A	決算額B	増減A-B
事務費	80,000	42,007	37,993
総会費	250,000	226,752	23,248
事業費	1,300,000	1,097,560	202,440
慶弔費	250,000	160,226	89,774
会議費	150,000	91,832	58,168
通信費	1,050,000	1,139,454	△89,454
旅費	400,000	288,780	111,220
周年事業積立金	1,075,500	1,019,100	56,400
国際交流事業積立金	0	588,750	△588,750
雑費	150,000	40,361	109,639
予備費	114,500	0	114,500
合計	4,820,000	4,694,822	125,178

収入 支出 残高
¥5,617,951 - ¥4,694,822 = ¥923,129 残額は、次年度へ繰り越す。

平成30年度桜雲同窓会一般会計収支予算書

平成30年6月1日～平成31年5月31日 単位:円

＜収入の部＞			
項目	前年度予算額B	本年度予算額A	比較A-B
繰越金	927,184	923,129	△4,055
入会金	3,585,000	3,480,000	△105,000
会費	300,000	300,000	0
寄付金	0	0	0
雑収入	7,816	871	△6,945
合計	4,820,000	4,704,000	△116,000

＜支出の部＞			
項目	前年度予算額B	本年度予算額A	比較A-B
事務費	80,000	80,000	0
総会費	250,000	250,000	0
事業費	1,300,000	1,300,000	0
慶弔費	250,000	250,000	0
会議費	150,000	150,000	0
通信費	1,050,000	1,050,000	0
旅費	400,000	400,000	0
周年事業積立金	1,075,500	1,044,000	△31,500
国際交流事業積立金	0	0	0
雑費	150,000	150,000	0
予備費	114,500	30,000	△84,500
合計	4,820,000	4,704,000	△116,000

平成30・31年度 桜雲同窓会役員

役職名	氏 名(期)
会 長	佐 藤 良 介(33)
副会長	酒 井 孝 子(33)
副会長	後 藤 勝 也(26)
副会長	赤 沼 豊 明(28)
副会長	高 橋 光 彦(34)
副会長	上 田 穰(36)
副会長	斎 藤 雅 博(36)
副会長	狩 野 敦 史(37)
副会長	古 川 勉(38)
副会長	伊 藤 純 子(41)
副会長	北 山 公 路(43)
副会長	菊 池 忠 彦(44)
顧 問	佐 藤 日 出 見(12)
顧 問	宮 澤 啓 祐(26)
顧 問	上 田 東 一(37)
顧 問	菅 野 慎 一(校長)
監 事	高 橋 勝 芳(28)
監 事	宮 澤 一 郎(30)

桜雲同窓会支部長

支 部	氏 名(期)
宮野目	未 定
東 和	藤 井 公 博(23)
石鳥谷	高 橋 康 郎(29)
盛 岡	斎 藤 雅 博(36)
東 京	小 原 之 夫(29)
宮 守	似 内 宏 和(37)
紫 波	上 田 潤 司(33)
久 慈	八 重 樫 護(18)
仙 台	傳 野 貞 雄(24)
花巻市役所	布 臺 一 郎(46)
花巻北	林 正 文(19)
水 沢	箱 崎 清 高(16)
花巻北西	佐 々 木 恭 一(10)
遠野地方	大 里 政 純(41)
一 関	小 野 寺 苓(15)
関 西	山 折 哲 雄(14)

平成29年度桜雲同窓会国際交流事業積立金収支決算書

平成29年6月1日～平成30年5月31日

単位:円

項 目	予算額A	決算額B	増減B-A	備 考
繰 越 金	2,300,200	2,300,200	0	
繰 入 金	0	588,750	588,750	
雑 取 入	800	234	△566	
合 計	2,301,000	2,889,184	588,184	

<支出の部>

項 目	予算額A	決算額B	増減A-B	備 考
国際交流事業	500,000	520,824	△20,824	
合 計	500,000	520,824	△20,824	

収入 支出 残高
¥2,889,184 - ¥520,824 = ¥2,368,360 残額は、次年度へ繰り越す。

平成30年度桜雲同窓会国際交流事業積立金収支予算書

平成30年6月1日～平成31年5月31日

単位:円

項 目	前年度予算額B	本年度予算額A	増減A-B	備 考
繰 越 金	2,300,200	2,368,360	68,160	定期預金 ¥1,000,400- 普通預金 ¥1,367,960-
繰 入 金	0	0	0	
雑 取 入	800	640	△160	預金利息
合 計	2,301,000	2,369,000	68,000	

<支出の部>

項 目	前年度予算額B	本年度予算額A	増減A-B	備 考
国際交流事業	500,000	500,000	0	ASMSA派遣事業
合 計	500,000	500,000	0	



講演会



懇親会での応援歌



山折先生と芸芸部員

講演会

演題 「宮沢賢治と斎藤宗次郎」

講師 山折哲雄 氏(14期)

関西桜雲同窓会会長
宗教学者



《略 歴》 1931(昭和6)年 サンフランシスコ生まれ
旧制花巻中学校、花巻北高等学校卒。
東北大学文学部卒業。東北大学助教授。
国際日本文化研究センター教授、所長を歴任。
日本文化研究センター名誉教授

《著 書》 『親鸞をよむ』(岩波新書)
『ころの作法』(中公新書)
『デクノボーになりたいー私の宮沢賢治』(小学館)
『母なるガンディー』(潮出版社) ほか

【講演の一部をご紹介します】

(前略) 宗次郎のお孫さん、児玉佳与子さんがお出でになって、「実は斎藤宗次郎の明治から昭和にかけての日記のすべてを私が保管しております。大正 10 年から 15 年にかけての賢治との交渉を示す原本ですので、それをお見せしましょう」と見せていただいたんですよ。先ほど申し上げたような様々な細かな事実がきれいな筆文字で、その和紙に書き付けられておりました。

これが斎藤宗次郎と私の出会いになりまして、これはそのままにしておく訳にはいかない。斎藤宗次郎には、膨大な日記であります、それは人間の身長を超えるくらいの量ですよ。そしてもう一つ、自分の自伝の部分だけを再編集した『二荊自叙伝』という別の日記が残されていました。「二荊」っていうのは荊冠を頭にかざす十字架上のイエス・キリストの姿をあらわしている。迫害を覚悟した自分の人生をなぞらえている。そういう自意識のもとに再編集したもののなんですね。その『二荊自叙伝』だけでも出版しようと、私は研究所で研究会を立ち上げて、それでその成果の一部を岩波書店から

出版することが出来た、国の助成を多少いただきましたけれども。それが『岩波版二荊自叙伝・上下 2 巻』でございますが、これには先ほどの栗原敦さんから多大なご援助もいただき、それから児玉佳与子さんのお力も得て、それで無事刊行することが出来た。その斎藤宗次郎が残した貴重な日記の中です、内村鑑三と斎藤宗次郎と宮沢賢治、この三者の関係がいろんな形で出てくる。これは日本の近代史を知る上でも非常に重要な資料になる。ここからどれだけの宝が導き出せるか分からないと私は思っております。日本思想上、日本宗教史上、近代のさまざまな問題に光をあてることできる。それを明らかにする上で実に大きな大きな宝物であると、私は思っております。

宮沢賢治という人物と作品は、今や国民共有の財産になりました。世界のあらゆる国の言葉にも訳されておりますが、それが世界的な意味でも新しい賢治像というものを、これからの時代に希望を与える賢治像を作り出していく上で、このことはやっぱり重要な基点の一つになるだろうと思っております。(後略)

山折哲雄氏へ、 名誉市民の称号贈呈



桜雲14期同窓生であり、日本を代表する宗教学者・山折哲雄氏に対し、花巻市名誉市民の称号が贈呈されました。名誉市民の贈呈にあたり、山折氏は「ふるさとの思いもかけない温かい贈り物を頂くことになり、言葉に尽くせない感謝の気持ちでいっぱい」というコメントがありました。

平成三十年十一月二十三日に花巻温泉ホテル千秋閣で開かれた名誉市民贈呈式には、県議や市議、同窓会長を始めとする関係者七十二名が出席、上田東一花巻市長(37期)が「山折様の活躍は、現在そして将来の花巻市民にとつての誇り。名誉市民として、その功績を末永く顕彰させていただきたい」と式辞を述べ、山折氏に名誉市民章と記念品(早池峰焼ランプシェード)が贈られました。

山折氏は、一九三二(昭和6年)に米国サンフランシスコで生まれ、一九四三年(昭和十八年)に母の実家である花巻市上町の専念寺に疎開。一九五〇年(昭和二十五年)に本校を卒業するまで花巻で過ごされました。卒業後は東北大学に進学、同大学院を経て出版社勤務や



大学の非常勤講師を務められ、国立民俗博物館教授を経て、一九八七年(昭和六十二年)国際日本文化研究センター教授に就任。その後、二〇〇一年(平成十三年)に同所長を務められて二〇〇五年(平成十七年)退任。宗教学の第一人者として、日本人の宗教観や心の問題について様々な研究を行い、宮沢賢治の世界観などに触れた数々の提言をされました。また、花巻市出身のキリスト教活動家であり、宗教思想家・内村鑑三に最後まで付き従ったとされる斎藤宗次郎についても識見があり、斎藤宗次郎と宮沢賢治の関係についても言及されています。

同期会だより

桜雲第二十五期生 「喜寿を祝う会」

会長 福岡勝夫

平成三十年十月二十七日(土)、第二十五期生の喜寿のお祝いを、「ホテルグランシエール花巻」で開催した。ほぼクラスとなる五十名の物故者に黙祷を捧げた。

当日は、参加五十八名。皆到着が早く、16時20分の記念写真撮影時間には余裕があった。クラス別に設けられたテーブルに着席。大森詔子副会長の開会宣言、会長福岡勝夫の「オッス!!の挨拶からほぼ六十年が経過しました」の挨拶の後、大阪から来た



岩手県立花巻北高等学校
桜雲第25期生 喜寿を祝う会

した藤井勝君の乾杯の大唱和で祝賀会がスタート、引き続き大森詔子さんの祝舞「鶴亀」で余興がオーブン。次第にお酒も進み、隣席の旧友に酒を注ぎながら話はずみです。「いつまで生きれるか分からないから皆に挨拶しとかなければ」と思い、参加したのさ」等本音も出ている。余興は、会長の詩吟「名槍日本号」、佐藤喜美子さんの踊り「法螺待」、女性軍ほぼ全員によるコーラス、関俊子さんのマジックと長い人生の間に身につけられた芸が披露され、宴席を盛り上げてくれた。校歌、応援歌に続き、菊池敏博君(大阪から参加)のエルで最高潮に達した。

富士山君の三本締め、司会の幅下昭正君の閉会の言葉で一次会が終了した。引き続き隣接に設けられた二次会場に移り、葛巻秀美君のカラオケをたつぷり聞かされた。いつものおじいちゃん、おばあちゃんではなかった。あの頃の若々しくエネルギー一杯の青年になって散会した。

支部だより

桜雲同窓会紫波支部

会長 正行(43期)

先ごろ十一月一〇日に開催された支部総会では、佐藤良介同窓会長をはじめ、今年度から校長に就任された菅野慎一先生をお迎えし、三十代の若者から八十代の大先輩まで、母校を愛してやまない四十名近い同窓生・関係者(男性のみ)が参集しました。



総会に先立つ菅野校長からの近況報告では、在校生の文武両道にわたる活躍など同窓生として誇らしく胸躍るものがありました。その後の懇親会では、平成二十九年春に若くして逝去された支部前幹事長の工藤大輔さん、幹事の島山泰さんらに黙とうと献杯を捧げ、哀悼の意を表したあと懇談へと移りました。

懇談では、夏の甲子園県予選での野球部のベスト16進出など母校の躍進やお互いの近況・容姿の変化などを話題に、時間の経過を忘れて話し込んでいました。締めめの元応援団幹部(41期)の高野勝夫先輩の旗振りによる校歌・応援歌の斉唱では、室内いっぽうに響き渡る朗々とした歌声と熱気に圧倒され、その昂揚感から久方ぶりに忘れかけた黒橋魂を思い起こし、揺り動かすには十分なものでした。ここに改めて、ご協力いただいた学校事務局や関係者の皆様に感謝申し上げ報告いたします。

表彰

2018年秋の叙勲

旭日小綬章受章

高橋 豊氏(30期)



平成三十年秋の叙勲にて、桜雲同窓会前副会長で全国農業機械商業協同組合連合会長及び花巻商工会議所会頭である高橋豊氏が、栄えある旭日小綬章を受章されました。平成三十一年二月十六日、受章祝賀会が盛大に開催されました。ますますのご活躍とご健勝を祈念いたします。

略歴

昭和四十五年慶應義塾大学法学部卒業後、同年三月株式会社クボタに入社。昭和四十九年に家業の高源機械に入社。昭和六十年に高源機械株式会社代表取締役社長に就任。平成二十年九月に株式会社岩手クボタ代表取締役社長、平成二十四年一月に株式会社みちのくクボタ代表取締役社長に就任。花巻商工会議所において、平成二年十月に常議員、平成五年十月から副会頭、平成三十年六月より会頭に就任。全国農業機械商業協同組合連合会において、平成二十五年より会長を務める。秋の旭日小綬章は農業振興功勞での受章となった。

花巻北高特別講演会 平成30年2月28日(水)

「学ぶこと」と生きること

講師 佐々木 毅氏
元東京大学総長



平成29年度卒業式前日の平成30年2月28日に、第27代東大総長である佐々木毅先生の講演会が行われました。尚、この講演会は、桜雲第23期梅津興三様から企画を頂き実現したものです。本当に得がたい経験をさせていただきました。

秋田県美郷町出身、秋田高校卒業。
1965年 東京大学法学部卒業
1978年 東京大学法学部教授
1998年 東京大学法学部長
2001年～2005年 東京大学第27代総長

専門は政治学・政治学史で、日本の政治思想史の第一人者。現在は東京大学名誉教授、日本学士院会員で、2013年には文化功勞者として表彰されている。

講演のまとめ

- 1 学ぶこと
「人間とは何であるか」という問いを立てたとき、その答は様々である。佐々木先生は「人間は学び続ける動物である」と提起する。そして「学び」を「知る」「理解する」「疑う」「超える」という4段階で捉えている。
2 専門家を越えた専門家
専門性を身につけることは必要である。しかし、専門家のために世の中があるのではなく、世の中のために専門家があることに注意しなければいけない。世の中のいろいろな事象に対して、それを深く観察し、どう「見立て」を行い、どんな処理を選択するか。それが専門家を越えた専門家の視点である。
3 努力と成果
努力に「比例して」成果がある、ということはない。しかし、努力を続けていると、いつか急激な変化が起き、一皮むけた状態になることがある。このことは、すべての人にあてはまるものではないが、努力し続けていかなければならない。
4 人生をつくる
時代の変化の中で何回も「選択」し、何回もチャレンジするという。そして「選択」ということは自由であるということだ。人は一つのことを学ぶのではなく、第二第三の学びがあり、その新しい学びをテコにして、新しいチャレンジをしていく。学ぶ、学び続けることは自分の人生を引き受けることだ。それぞれがどう自分の人生をつくるか、それは学ぶことでしかできない。
5 凄い人と出会うこと
卒業したら「凄い人」と出会うと欲しい。「凄い人」とは、自分を鍛え直し、磨くことができる存在である。その人が何者であるかなどは問題ではない。

平成30年度 文化講演会 平成30年 10月2日(火)

講師 高橋博之氏

株式会社ポケットマルシェ代表取締役 桜雲 57期



1974年 花巻市生まれ。花巻北高校卒業、青山学院大学経済学部卒業
2006年 岩手県議会議員に初当選
2011年 岩手県知事選挙に立候補
2013年 特定非営利活動法人「東北開墾」設立
2014年 一般社団法人「日本食べる通信リーグ」を創設
2016年 スマホアプリ「ポケットマルシェ」サービス開始

講演概要

高校時代人間関係に悩んでいたが、恩師の言葉で立ち直ることが出来た。都会での未来に希望を求め、東京の大学に進学したものの、受け身の消費社会に退屈するようになった。生きる実感求め海外を放浪し、そこで生きる人々の姿に感銘を受けた。卒業後、自分の居場所を求めて帰郷、政治の世界を志した。街頭での演説を毎日行い、30歳で岩手県議会議員に初当選。2期目を迎えた時、東日本大震災が起こる。被災者と触れ合う中で、自ら新しいふるさと作りの先頭に立とうと県知事選に出馬するも落選。事業家へ転身し、生産者と消費者をつなぐビジネスモデル「東北食べる通信」を立ち上げた。「つくる」側と「食べる」側をつなぐことで、人々は単なる「消費者」から「生活者」へと変わって行くことが出来る。

生徒感想

- 《1年生男子》
講師の方の「最近の都会で暮らす人は、人間を生産性の物差しではかつて、人として大事な部分である人間関係の大切さを見失いかけている」という言葉が私の中では印象に残っている。いろいろな技術が発達している現代の資本社会においても、生産者と消費者の間の繋がりを大切にすべきだという考え方に非常に共感した。また、「人生は思い通りにならない事の方が多いから、今できることを全力でやる。そうすれば、不思議と自分のやりたかったことにたどり着く」という言葉があった。私はこの言葉は今自分の高校生活の中で、一番大切なことなのではないかと思った。
《2年生女子》
講演を聞いて、不自然に生き続けるよりも、人として限られた人生の中で一生懸命生きることが大切だと分かりました。でも私は、病気に苦しむ人がいる限り、医療は発達するべきだと思いました。これからの社会をつくっていく私達が使い方を間違えなければ大丈夫だと思います。そのために、大学で何を学びたいのか、もっとよく考えようと思いました。ずっと花巻を出ようとして考えていっていませんでしたが、今日の話聞き、地元を守るには、人に任せきりにせず自分から貢献しなければと思いました。地元岩手にもっと自信を持ち、大学で学んだ知識で地域活性化に貢献出来る人になりたいです。
《3年生女子》
私は岩手が嫌いでした。交通の便が悪い、仕事がない、最低賃金も安い、全国に知られている特産品もない、と理由をあげていけばきりがありません。そのため、大学を出たら岩手に戻らないと決めていました。しかし、今日のお話を聞き、岩手は失われつつある「生きる意味」を知ることができる場所だと気付くことができました。私の周りには、一次産業に従事している人が多くいます。また、友人にも一次産業を目指して農業学校に通う人が何人もいます。先生のお話を聞き、私はその人たちが仕事をしている時のことを思い出しました。牛に餌を与える時の優しい手つきや、注意深くトマトを見つめる眼差しなど、パソコンで仕事をしている母とは少し違った態度でした。それはやはり、生きがいを持って生きているからなのだと思います。

内外で活躍する

O・B・O・G 紹介



「夢」は…持って、動いて、叶えるもの

NHK盛岡放送局 放送部副部長

佐藤 龍文 (59期)

皆さん、こんにちは。今から二十四年前、平成七年に花巻北高校を卒業しました。

生徒会長をしていた高校時代、「夢」はアナウンサーになることでした(漠然とですが…)。

逸見政孝さん、福沢朗さん…当時TVで見ていた人たちの出身校は早稲田大学第一文学部。何かヒントがあるかもしれないという思いから、私も進学しました。

とはいえ、サークル活動に、アルバイトに、もちろん学業にと向き合っていると、「夢」のままでも動きません。

自分が動いたのは大学二年生でした。成人式を終えて二十歳になったというタイミングもあったのでしよう。アナウンサーというものを見つけて、資料を眺め、実際に通ってみることにしました。

二年生でそういうスクールに通っていたのは他にいません(皆さん、就職活動控えた三年生が中心でした…)。

周りが就職活動という現実に向

き合っている中で、気負うこともなく一人だけ「夢」を見続けていました。

翌年、NHKの大学生セミナーというものに参加してみると、発声・話し方など以前習っていたものとはまた違う世界がありました。「自分が知っている」のは小さなものだと感じる時、どんどん吸収したくなるのです。同時に、自分も就職活動が近づいてきた切迫感が増してきたことも背景にあったと思います。

いざ就職活動…。万全の準備をしてきたと思っても、なかなか上手くはいきません。民放キー局の試験に通らず、残るはNHKだけ。今思うと不思議ですが、格好良く自分を認めるのではなく、むしろ自分の弱さをさらけ出すことができました。後がなくなり、余計な肩の力が抜けたのかもしれない。

アナウンサーになって二十年、生まれた子が成人するまでの時間が経ちました。叶えた「夢」を振り返ってみたいくなったのも、ふるさと、岩手で働いているからかもしれません。

NEWS

東京桜雲会マルカンライブ中継

平成三十年十月十三日、東京桜雲会は、土曜のお昼で混雑しているマルカン食堂のライブ中継から始まった。

スクリーンに映った「いつか見た風景」に七十名超の参加者も最初は戸惑っていたが、マルカン側からの43期北山公路さんの「マルカン食堂の復活劇」のナレーションで、この賑わいが今もある理由が、当時の現役北高生やOBの活躍だった事を知り、母校に続く不撓不屈の精神をあらためて思い出すことができたのではないかと思います。

このように東京桜雲会はいつもと違う趣向で始まり、小原之夫東京桜雲会会長(29期)挨拶、佐藤良介同窓会会長、菅野慎一校長からの挨拶を頂き、歓談タイムに入った。ここで梅津豊さん(41期)提供による桜咲く桜雲台旧校舎の映像を流し、参加者の歓談が大いに盛り上がり、その後、恒例の岩手県産品の景品抽選会、応援歌斉唱までの2時間を大盛況で過ごすことができた。

幹事会で今回のライブ中継の案が提案された際に、最初に賛成しその趣旨に強く賛同したのは、なんと一番の大先輩の佐々木幸三顧問(15期)であった。この黒橋魂、不撓不屈をずっと持ち続けている大先輩の精神をぜひ見習いたいと強く思った次第である。

(東京桜雲会会計担当43期 鎌田貞)

桜雲78期 横地眞平 吉本新喜劇金の卵オーディション合格

二〇一八年金の卵オーディション10個目にて、第八十二代応援団長であった横地眞平さんが見事合格を勝ち取り、吉本新喜劇の座員となりました。平成三十年四月十四日に、大坂の「なんばグランド花月」にて合格した新座員十名の発表が

お笑い 胸に岩手愛

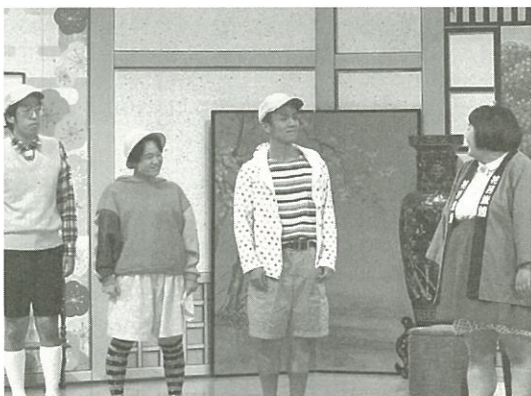
笑いの本場で、輝きたい。花巻市東北万丁目出身の横地眞平さん(28)は、大阪市の吉本新喜劇の座員としてよしもクリエティブ・エンジェンシーに所属し、東北出身者のオーディション合格者として初めて、10月に大阪市で行われた本公演初出演を果たした。13日からは京都市で1週間出演する。「誰もが知る芸人になる」との思いを胸に、本県出身の新星がお笑いの名門で輝く。

花巻出身横地さん

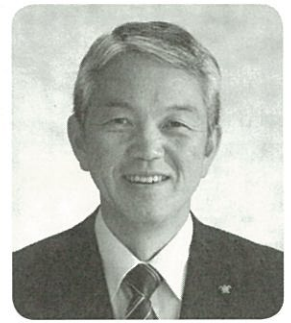
大阪市のなんばランド花月で行われた10月からの本公演、横地さんは、酒井監査長が演じる「小学生の仲間さん」と仲良しの同級生役で出演した。声の高低を操り、全場の笑いを誘う。延べ2週間で30回以上の舞臺をやりきった。

また緊張は取れず、度裏からは「ほける前に力が入りすぎて芝居になっていない」と厳しい指摘も。テレビでは当たり前に見えるが、オーディションを競い合っている中、たまに「出番が薄く必要と感ずるが、出番

吉本新喜劇で奮闘 「誰もが知る芸人に」



吉本新喜劇の本公演に出演を果たした横地眞平さん(右から2人目)＝大阪府・なんばグランド花月(よしもとクリエイティブ・エンジェンシー提供)



世相の漢字 「災」から

校長 菅野 慎一

桜雲同窓会員の皆様におかれましては、ご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より本校の教育活動にご支援とご協力を賜り、この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。各支部総会でお目にかからなかつた皆様もおりますので、改めてご挨拶申し上げます。今年度よりお世話になっております。沿岸にある高田高校より、着任いたしました。花高は初めて勤務となります。どうぞよろしくお願いたします。

今年度の桜雲同窓会は、佐藤良介会長の力強い働きかけの中、活発な活動が繰り広げられ、本校の教育活動にも多大なるお力をいただきました。御礼申し上げます。

同窓会名簿の改訂事業等その活動の状況や各支部の活動の様子は他に譲りますが、各地域に根ざした桜雲同窓会員の皆さんのエネルギーを肌で感じた一年だったと思っています。さて、師走十二日には京都の清水寺で、今年一年の世相を漢字一字で表す今年の漢字が「災」と発表されました。あまり印象がよい漢字ではありませんが、関連して思うところを述べてみたいと思います。

六月十六日桜雲同窓会関西支部が神仙閣大阪店でおこなわれ、楽しいひとときを一緒に過ごしていただきました。その後、岩手に戻って間もない十八日七時五十八分ごろ、大阪府北部を震源として発生したM6.1の地震があり、大阪市北区・高槻市・枚方市・茨木市・箕面市の五市区は大きな揺れとなりました。二日前にお会いし、大変お世話になった桜雲同窓会関西支部事務局長の藤井勝(25期)さんに何とか連絡できないかとメールを送りましたところ、「自分は大丈夫であったこと、同窓会員の安否の確認をしていくこと、気遣いに心から感謝する」との返事か返ってきて安心しましたし、逆に元気をいただきました。

また、八月の末に本校でお会いして、桜雲同窓会北海道支部の立ち上げに奔走していた海老原浩樹(36期)さんから十月にメールをいただき、お見舞いのメールを返信しました。その中には、胆振地方中東部を震源としたM7.0の地震が九月六日に発生し、二百九十五万戸が停電し1996年以来北海道で起きる地震としては最大の被害をもたらした様子が刻銘に記されておりました。海老原さんは十月初旬に桜雲同窓会北海道支部を立ち上げようと、「北海道桜雲同窓生の集い」を開催できる段階まで漕ぎ着けた矢先で、この地震が発生し、やむを得ず、世情が落ち着くまで延期したこと、北海道議会議員である神戸典臣(22期)さんが、震源地胆振地区選出でもあり、毎日奔走されている様子等が記されておりました。

私自身沿岸出身でもあり、先の東日本大震災では全国の皆さんに支援の手をさしのべていただきましたので、何かできることがあればと連絡を取らせていただいた次第です。本校生徒会でも厚真高等学校へは、文化祭である桜雲祭で募金されたものや模擬店での売り上げの一部を義援金として直接送っており、在校生も支援活動を展開しています。

各桜雲同窓会支部総会の締めは校歌です。どの支部でも皆さん声枯れんばかりに謳たわれ、青春時代に思いをはせる姿を拝見するにつけ、「人生風波すさぶとも 不撓の勇氣我にあり」とどんな環境にあっても自分を奮い立たせる勇気を八十七年前より佐藤昌初代校長が説かれていたこと、そして、被災された地で「災」にもしっかりと対峙しておられる桜雲同窓生の姿が浮かんできました。そして、我使命である「理想の殿堂」づくりを更に前に進めなければと、決意を新たにす

るよい契機となりました。これからは花高が在校生を含め、皆様の心のよりどころになるように力を尽くす所存ですので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます、挨拶いたします。



「姉妹校 ASMSA 派遣事業」報告

【姉妹校：ASMSA(アーカンソー数理芸術高校)】

平成 29 年度に始まった「ASMSA 派遣事業」は、2年目に入りました。6月6日、ホツ Springs市より ASMSA 生徒 14 名と引率教員 2 名が来校し、交流を深めました。また、この3月に派遣される本校生 4 名の家庭はホストファミリーとして ASMSA の生徒を受け入れました。その時の感想を紹介します。尚、今年度の ASMSA への派遣期間は、平成 31 年 3 月 7 日～ 15 日の 9 日間です。

<p>2年B組 古谷 菜々香 & Chloe Cotabish</p> 	<p>2年B組 菅谷 美翔 & Megan Perreault</p> 	<p>1年A組 高橋 凜 & Prince Dalal</p> 	<p>1年F組 佐々木晴翔 & Brylan Vick</p> 
---	---	--	---

今回留学生との交流を経て、外国人だからといって身構える必要はないと学べた。話そうという気持ちがあれば、知っている相手の言語を互いに使って理解し合えたし、同じ年齢なだけあって話も弾み、日本の友達と大きな違いはないと気づけた。この経験を活かし、今度はアメリカで積極的に交流し、互いの国をよく知りたと思う。

私は ALT の先生と話すのが苦手な、今まで外国の方と交流したことがほぼありませんでした。文法さえ分かれば良いと思っていました。しかし、今回良い点を取るための知識ではなく、「意思疎通の手段」として英語に触れて、自身の勉強不足と意識の甘さに気づきました。今回の経験をこれからの勉強に活かしていきたいです。

僕は、今回の受け入れで自分の家に来てくれたプリンスと一緒にたくさんしたことをした。中でもスポーツを一緒にしたことは印象に残っている。一緒に体を動かしているうちに自然と会話が弾み、とても楽しい時間だった。あっという間の日々だったが今度自分がアメリカに渡った時に、もう一度会って感謝の気持ちを伝えたいと思う。

ASMSA からの留学生を受け入れて、様々なことを学ぶことができ、充実した受け入れ期間だった。また、アメリカと日本の文化・考え方の違いを理解することで、ものの見方が大きく変わったと感じた。今回学んだことを、これからの生活・活動、学習などに生かし成長していきたい。

部活動報告 (県大会以上)

野球

第70回岩手県高等学校総合体育大会硬式野球競技
兼第65回春季東北地区高等学校野球選手県大会
1回戦 花巻北10-1久慈
2回戦 花巻北10-3高田
準々決勝 花巻北8-0盛岡第三
第100回選手権選手大会
1回戦 花巻北7-3久慈工業
2回戦 花巻北6-3宮古商業
3回戦 花巻北0-1盛岡市立
第71回秋季東北地区高校野球選手県大会
1回戦 花巻北3-4盛岡商業
2回戦 花巻北3-0盛岡市立
花巻北3-0盛岡市立
花巻北2-1盛岡市立

サッカー

第70回岩手県高等学校総合体育大会
2回戦 花巻北5-1水沢工業
3回戦 花巻北2-4盛岡誠毅
(延長) ベスト16
第97回全国高等学校サッカー選手権選手県大会
1回戦 花巻北1-2釜石商工
第53回岩手県高等学校新人サッカー大会男子の部
2回戦 花巻北5-1関東業
3回戦 花巻北0-8専大北上
ベスト16

ソフトテニス

第28回岩手県ユニオン選抜ソフトテニス選手権大会
【男子ダブルズ】
小野寺希望・高橋一貴
0-1小野寺・小澤(盛岡南)
0-1大城(中野黒北)
【男子シングルス】
竹花和将
不戦勝 佐藤(宮古商)
0-4橋本(盛岡工)
0-4橋本(盛岡工)
黒沢美智・横澤未音
4-3泉山・藤原(盛岡二)
0-4晴山・富岡(盛岡誠毅)

女子ソフトテニス

【女子ダブルズ】
高橋彩乃 3-4 稲石久慈、0-4 伊藤黒北
横澤光咲 3-4 村上高田、2-1 4内田福岡
第3回東北ソフトテニスシングルス選手権大会
【女子シングルス】
1回戦 横澤光咲 0-4 小松田東北福祉大女子
第50回岩手県高等学校選抜ソフトテニス大会
【女子ダブルズ】
花巻北 0-3 高田
【女子シングルス】
高橋彩乃 佐久間結菜
4-1 小原小玉水沢南、2-4 大石・高橋魚北

陸上競技

第70回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】
川内成哉 500m 第5位 東北大会
村村亮太 500m競歩 第2位 東北大会
中村舜 300m障害 第2位 東北大会
【女子】
三浦菜友 400m 第3位 東北大会
渡部希沙 走高跳 第2位 東北大会
岩手県陸上競技選手権大会
中村舜 300m障害 第3位
三浦菜友 400m 第3位
渡部希沙 走高跳 第2位 東北陸上選手権大会出場
県高校新人大会陸上競技
【男子】
菊池雅弘 300m障害 第5位
山影佳成子 100mH 第4位
渡部希沙 走高跳 第3位
東北高等学校新人陸上競技選手権大会
女子走高跳 渡部希沙 第5位

ハンドボール

第70回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】
2回戦 花巻北51-14紫波総合
準々決勝 花巻北30-31盛岡中央
※特別取組員 前田憲人
【女子】
1回戦 花巻北24-9紫波総合盛岡スコーレ
準々決勝 花巻北6-27盛岡白百合学園
第11回岩手県高等学校秋季ハンドボール大会
【男子】
1部1回戦 花巻北11-25盛岡南
1部敗者戦 花巻北31-15岩手
【女子】
1部1回戦 花巻北17-19盛岡二
1部敗者戦 花巻北23-15盛岡商業
第62回岩手県高等学校新人ハンドボール大会
【男子】
2回戦 花巻北29-10盛岡商業
準々決勝 花巻北16-24不来方
【女子】
1回戦 花巻北26-12北上翔南
準々決勝 花巻北10-20花巻南
第42回全国高等学校ハンドボール選抜大会岩手県予選会
【男子】
1回戦 花巻北26-13花巻北
敗者戦 花巻北18-16盛岡誠毅 7位
【女子】
2代表戦
1回戦 花巻北27-15盛岡三
2回戦 花巻北21-19盛岡一
3回戦 花巻北17-13盛岡四
決定戦 盛岡南24-15花巻北3位
優秀選手 鈴木空悟

弓道

第70回岩手県高等学校総合体育大会
【男子団体】
準々決勝 20射13中 合計60射36中通過
準決勝 20射9中 合計80射45中敗退(ベスト8)
【男子個人】
大坪恒介 予選 8射6中通過
準決勝 4射2中 合計12射8中敗退
【女子団体】
予選 40射24中 通過
準決勝 20射10中 合計60射34中通過
準決勝 20射8中 合計80射42中 北上翔南
福岡工業と同中
同中競射 1回目 花巻北3中 北上翔南2中
福岡工業3中
2回目 1射1中 福岡工業2中 通過
決勝 リーグ戦 1回戦 14中7中 大東勝ち
2回戦 11中10中 花巻南勝ち
3回戦 11中11中 福岡同中

水泳

遠近競射の結果 第2位
第70回岩手県高等学校総合体育大会
※東北大会出場種目
千田 恭子 200mバタフライ 第3位
尾崎日向子 400m自由形 第5位
100mバタフライ 第8位
佐藤 汰郎 400m個人メドレー 第6位
200m個人メドレー 第5位
第66回東北高等学校総合体育大会水泳競技
千田 恭子 200mバタフライ 予選第14位
100mバタフライ 予選第8位
※決勝進出 決勝第6位
尾崎日向子 400m自由形 予選第19位
200m自由形 予選第13位
佐藤 汰郎 400m個人メドレー 予選第28位
200m個人メドレー 予選第27位
第56回岩手県高等学校新人水泳競技大会
千田 恭子 200mバタフライ 第3位
尾崎日向子 400m自由形 第3位
200m自由形 第2位
第26回東北高等学校新人水泳競技大会
千田 恭子 200mバタフライ 予選第11位
100mバタフライ 予選第5位
※決勝進出 決勝第8位
尾崎日向子 400m自由形 予選第7位
200m自由形 予選第3位
決勝第4位 ※入賞

バスケットボール

第70回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】
1回戦 花巻北91-33紫波総合
2回戦 花巻北14-51大船渡
3回戦 花巻北60-136関工業
【女子】
3回戦 花巻北92-41釜石
4回戦 花巻北60-49関一
準々決勝 花巻北56-93盛岡白百合学園
ベスト8
第39回岩手県高等学校選抜バスケットボール大会
兼第71回全国高等学校バスケットボール選手権大会 岩手県予選会
【男子】
1回戦 花巻北82-43盛岡中央
2回戦 花巻北66-80盛岡第四
【女子】
1回戦 花巻北82-43盛岡中央
2回戦 花巻北66-80盛岡第四
【男子】
1回戦 花巻北109-52久慈
2回戦 花巻北58-55水沢
準々決勝 花巻北42-88盛岡市立
ベスト8
第64回岩手県高等学校新人バスケットボール大会
【男子】
2回戦 花巻北71-48不来方
3回戦 花巻北68-109盛岡市立
ベスト16
【女子】
2回戦 花巻北45-39盛岡第三
3回戦 花巻北70-74関第一
ベスト16

バドミントン

第70回岩手県高等学校総合体育大会
【男子ダブルス(個人)】
川村幸一郎・菊池雅弘(ペア)
1回戦 2-0(関第一、2回戦 0-2前沢)
【男子学校対抗】
2回戦 3-0(関学院) ※ベスト16
3回戦 1-3(千歳)
【女子ダブルス(個人)】
小田嶋亜美・高橋未音(ペア)
1回戦 2-1(不来方) 2回戦 1-2(関第二)
藤原未音及川楓(ペア)
1回戦 1-2(千歳)
【女子学校対抗】
1回戦 3-0(不来方) 2回戦 2-3(千歳)
第58回岩手県高等学校新人バドミントン大会
【男子】
2回戦 0-3(水沢第一)
高橋未音及川楓(ペア)
1回戦 2-0(水沢商業) 2回戦 1-2(盛岡市立)
【女子】
2回戦 1-3(専大北上)

卓球

第70回岩手県高等学校総合体育大会
【男子学校対抗】
1回戦 花巻北3-0久慈
2回戦 花巻北3-0紫波総合
3回戦 花巻北3-1盛岡市立
【女子学校対抗】
1回戦 花巻北1-3宮古 ※ベスト8
【男子シングルス】
及川大貴・古藤雄世 3回戦敗退
賞谷美翔 2回戦敗退
【女子ダブルズ】
及川平賀 3回戦敗退(ベスト16)

【女子ダブルス】
 土谷 菅谷 1 回戦敗退
 平成30年度岩手県ジュニア卓球選手権大会
 日本卓球選手権大会ジュニアの部県2次予選会
 【男子ダブルス】
 平賀 瑞希 古館 雄世 1 回戦敗退
 【女子シングルス】
 菅谷 美翔 1 回戦敗退
 第64回岩手県高等学校新人卓球大会
 【男子学校対抗】
 1 回戦 花巻北3-0 盛岡北
 2 回戦 花巻北3-0 金ヶ崎
 3 回戦 花巻北2-3 盛岡市立 ※ベスト16
 【女子学校対抗】
 1 回戦 花巻北3-0 盛岡北
 2 回戦 花巻北0-3 花巻農業
 【男子ダブルス】
 平賀 柏田 1 回戦敗退
 【女子シングルス】
 菅谷 美翔 13位
 古館 雄世 18位
 【女子シングルス】
 菅谷 美翔 2 回戦敗退
 第42回東北高等学校選抜卓球大会
 男子予選リーグ 3勝1敗 2位通過
 男子2位リーグ 1勝1敗 5位

大川沙月 5 回戦敗退(ベスト16)
 堀口沙耶 5 回戦敗退(ベスト16)
 小野 沙未 3 回戦敗退 高橋由羽 4 回戦敗退
 山口ひまり 1 回戦敗退
 【男子団体】
 予選リーグ
 花巻北5-0 水沢
 花巻北5-0 盛岡第三(予選リーグ第1位)
 決勝トーナメント
 花巻北4-0 福岡 花巻北2-3 盛岡第四
 花巻北4-0 盛岡北(決勝リーグ第3位)
 ※第3位・東北大会出場
 【女子団体】
 予選リーグ
 花巻北5-0 釜石(棄権)
 花巻北5-0 二戸(予選リーグ第1位)
 決勝トーナメント
 花巻北4-0 花巻南
 花巻北2-1 福岡 花巻北0-5 盛岡南
 花巻北4-1 福岡(決勝リーグ第2位)
 ※第2位・東北大会出場
 第61回岩手県高等学校新人剣道大会
 【男子個人】
 牛崎文也 3 回戦敗退 伊藤央恭 2 回戦敗退
 奥山誠也 1 回戦敗退 八重樫大 2 回戦敗退
 【女子個人】
 山口ひまり 1 回戦敗退
 大川 沙月 4 回戦敗退(ベスト16)
 菅崎 舞 3 回戦敗退
 堀口 沙耶 準々決勝敗退(ベスト8)
 【男子団体】
 1 回戦 花巻北5-0 金ヶ崎
 2 回戦 花巻北2-2 盛岡第一(代表戦)
 【女子団体】
 1 回戦 花巻北5-0 宮古商業
 2 回戦 花巻北5-0 遠野
 3 回戦 花巻北1-4 白百合
 第3位(東北大会出場)
 東北高等学校剣道選抜大会
 【男子団体】 第3位
 【女子団体】 第3位

2 回戦 花巻北0-3 盛岡第二(ベスト8)
 【男子シングルス】
 小原晴生 大内尚人 菊池雄大 鈴木亮太
 和田侔有 佐藤慎悟 以上1回戦敗退
 【男子ダブルス】
 菊池雄大 大内尚人 2 回戦敗退(ベスト16)
 佐藤慎悟 小原晴生 1 回戦敗退
 和田侔有 坂本 陽 1 回戦敗退
 【女子団体】
 1 回戦 花巻北0-3 盛岡第一
 【女子シングルス】
 外館 梢 準々決勝敗退(ベスト8)
 東北高校選手権出場(ベスト16)
 岸 史乃 2 回戦敗退
 菊池 虹 2 回戦敗退(ベスト16)
 【女子ダブルス】
 外館 梢 岸 史乃 準決勝敗退(ベスト4)
 東北高校選手権出場
 第59回東北高校フェニクス選手権大会
 【男子シングルス】
 外館 梢 1 回戦敗退
 【女子シングルス】
 外館 梢 第5位
 平成30年度 国体選考会
 少年女子
 外館 梢 第5位
 平成30年度フェニクス大会
 【男子シングルス】
 坂本 陽(ベスト16) 小原晴生(ベスト16)
 【女子シングルス】
 菊池 虹 第3位
 第40回東北ジュニアフェニクス選手権大会(全日本)
 ジュニア予選会
 外館 梢 予選敗退
 外館 梢 予選敗退
 第50回岩手県高等学校新人フェニクス大会
 【男子団体】
 2 回戦 花巻北4-1 盛岡工業
 準決勝 花巻北0-3 盛岡第一
 順位決定戦
 1 回戦 花巻北3-2 盛岡北
 4 回戦 花巻北1-3 盛岡四(ベスト4人賞)
 【男子シングルス】
 小原晴生 坂本 陽(ベスト16)
 和田侔有 馬立 春 2 回戦敗退
 熊谷快斗 菊池巧真 初戦敗退
 【女子ダブルス】
 小原晴生 坂本 陽(ベスト16)
 和田侔有 熊谷快斗(ベスト16)
 【女子団体】
 1 回戦 花巻北3-2 盛岡南
 準決勝 花巻北1-3 盛岡第三
 順位決定戦
 2 回戦 花巻北2-3 盛岡第四
 5、6位相当
 【女子シングルス】
 玉澤愛 濱 松井 美優 初戦敗退
 菊池 虹 佐藤 梓 第3位
 玉澤愛 濱 松井 美優 初戦敗退(ベスト12)
 東北春季ジュニアフェニクス選手権 U18 岩手県予選
 【男子シングルス】

坂本 陽(ベスト12) 小原晴生(ベスト16)
 和田侔有 馬立 春 初戦敗退
 【男子ダブルス】
 小原晴生 坂本 陽(ベスト8)
 【女子シングルス】
 菊池 虹(ベスト4) 東北大会出場(獲得)
 【女子ダブルス】
 菊池 虹 佐藤 梓(ベスト8)
 玉澤愛 濱 松井 美優 初戦敗退
 澤澤愛 濱 松井 美優 初戦敗退(ベスト16)
 花巻北・盛岡商業 8-12 関第二
 ノフトボル
 第70回岩手県高等学校総合体育大会ソフトボール競技
 花巻北・盛岡商業 8-12 関第二
 アイチエー
 第31回岩手県高等学校春季アイチエー競技大会
 女子団体 第2位
 男子団体 第2位
 女子個人 第4位 梅本李緒 第5位 川村美空
 男子個人 第6位 伊藤若菜 第4位 藤原海陽
 第70回岩手県高等学校総合体育大会
 女子団体 準優勝
 男子団体 準優勝
 女子個人 第5位 梅本李緒
 男子個人 第2位 阿部魁徒 第5位 藤原海陽
 第36回東北高等学校アイチエー選手権大会
 女子団体(ベスト8)
 男子団体(ベスト8)
 女子個人 川村美空(ベスト16)
 男子個人 藤原海陽(ベスト16)
 男子個人 藤原海陽(ベスト16)
 第51回全国高等学校アイチエー選手権大会
 男子個人 決勝ラウンド 阿部魁徒
 1 回戦 6-2 対 田村高(岩手)
 女子個人 予選ラウンド出場 梅本李緒
 第31回岩手県高等学校新人大会
 男子団体 第2位
 女子個人 第2位
 ○70M ラウンド×2
 男子個人の部 第1位 藤原海陽 第5位 菊池響
 順位決定戦
 1 回戦 花巻北3-2 盛岡北
 4 回戦 花巻北1-3 盛岡四
 ○30M V ラウンド×2
 女子個人の部 第1位 田中日和 第2位 藤原愛弓
 男子個人の部 第3位 小原千有
 男子個人の部 第1位 後藤健 第3位 太田晴大
 平成30年度第33回東北高等学校アイチエー選抜大会
 男子団体 第3位

ボクシング
 第70回岩手県高等学校総合体育大会
 2 回戦 柏田優
 ライト級 柏田優
 準決勝 3-0 藤田和良(沢沢工)
 決勝 3-0 佐々木宗徒(東沢工)
 学校対抗 花巻北(1校中)
 平成30年度全国高等学校総合体育大会
 ライト級 柏田優
 2 回戦 負け(KO) 高野大分(大分工業)

吹奏楽
 平成30年度全日本吹奏楽コンクール岩手県大会
 予選中央地区大会
 全日本吹奏楽コンクール(地区代表)
 全日本吹奏楽コンクール第56回岩手県大会
 高等学校の部 銀賞
 平成30年度全日本アンサンブルコンテスト岩手県大会予選 花巻支部大会
 高等学校の部
 フルート二重奏 金賞(地区代表)
 クラリネット七重奏 金賞(地区代表)
 金管八重奏 金賞(地区代表)
 金管六重奏 金賞
 全日本アンサンブルコンテスト第39回岩手県大会
 高等学校の部
 金管八重奏 金賞(岩手県代表)
 クラリネット七重奏 金賞
 フルート二重奏 銀賞
 全日本アンサンブルコンテスト第46回東北大会
 高等学校の部
 金管八重奏 銅賞

英語
 第41回岩手県高等学校総合文化祭平成30年度
 岩手県高等学校英語スピーチコンテスト
 小田島伶奈 参加賞
 平成30年度岩手県 KEN Cup 高校生英語コンテスト大会
 参加賞
 大原早矢 五内川羽月 佐々木奏美
 藤原恵梨菜 長谷川遙香 高橋心愛
 第39回全国国際研究大会英語弁論大会(岩手県代表)
 表選出
 高橋心愛 最優秀賞 ※東北大会出場(獲得)
 男子団体 第2位

文芸
 平成30年度岩手県高校生文芸コンクール
 【詩部門】 入選 渡辺 凜
 【児童文学部門】 最優秀賞 菊池夕莉夏
 【短歌部門】 入選 渡辺 凜
 【俳句部門】 入選 菊池夕莉夏
 【随筆部門】 最優秀賞 菊池夕莉夏
 【小説部門】 優秀賞 佐々木晴
 小説部 菊池夕莉夏 最優秀賞 渡辺 凜
 文芸誌部門 優秀賞 花北文芸61
 第29回岩手県高校生読書体験記コンクール
 最優秀賞 佐々木晴
 第33回全国高等学校文芸コンクール
 【詩部門】 入選 菊池夕莉夏
 【小説部門】 最優秀賞 菊池夕莉夏
 【随筆部門】 最優秀賞 菊池夕莉夏
 【文芸誌部門】 最優秀賞 花北文芸61
 第29回岩手県高校生読書体験記コンクール
 最優秀賞 佐々木晴

合唱
 第70回全日本合唱コンクール岩手県大会
 優良賞
 第85回NHK全国学校音楽コンクール岩手県大会
 優良賞
 第28回岩手県合唱小アンサンブルコンテスト
 銀賞
 第41回岩手県高等学校総合文化祭芸術発表
 第56回山下高校美術展
 【絵画部門】
 入選 大原早矢(街角)
 【デザイン部門】
 入選 島津英恵(多文化共生社会推進ポスター)

写真
 平成30年度岩手県高等学校文化連盟
 写真専門部夏季写真コンテスト
 特賞 佐々木莉央(廊下で)
 入選 伊藤純乃(花の匂い)
 第41回岩手県高等学校総合文化祭
 第37回岩手県高等学校写真展
 優良賞 伊藤純乃(花の匂い)
 入選 福山ゆづか(3D少女)

囲碁将棋
 岩手県高文連将棋順位戦
 A級 多田 匠 9位 畑福悠真 10位
 岩手県高等学校将棋大会
 A級 個人戦 多田 匠 畑福悠真(ベスト16)
 岩手県高文連将棋王戦
 B級 佐々木祥友 15位 照井大貴 16位
 岩手県高文連将棋順位戦
 B級 照井大貴 12位 佐々木祥友 13位
 高文連将棋新人大会
 B級 団体戦: 12位

放送
 第41回NHK全国高校放送コンテスト(岩手県大会)
 朗読部門 優良賞 釜本慎ノ輔
 第65回NHK全国高校放送コンテスト(東京都)
 朗読部門 優良賞 釜本慎ノ輔
 第65回NHK全国高校放送コンテスト(東京都)
 テレビスポーツ部門 優秀賞
 第65回NHK全国高校放送コンテスト(東京都)
 ラジオドキュメント部門 優良賞
 第41回NHK全国高校放送コンテスト(東京都)
 朗読部門
 第41回岩手県高等学校総合文化祭放送部門大会
 兼第36回岩手県高等学校放送新人大会
 朗読部門 優秀賞 釜本慎ノ輔
 全国高等学校総合文化祭(佐賀県) 出場(獲得)
 東北高等学校放送コンテスト(盛岡県) 出場(獲得)
 入賞 星 涼菜
 東北高等学校放送コンテスト(盛岡県) 出場(獲得)

アーチエリー部

見えないもの

三年 阿部 魁 徒

「70m」。どのくらいの印象でしようか。ポルトなら10秒からからない、でしょうか。あくまで個人的な感覚では、自宅にあるゴミ箱に投げ入れる感じです。私はこの微細さを感じながらアーチエリーをしてきました。その中で、全国大会に三度挑戦しました。一度目は先輩と挑んだインターハイ。全国のレベルを痛感しました。二度目は選抜大会。県代表として女子代表選手と共闘することができました。三度目はキャプテンとして臨んだインターハイ。全身全霊で戦い抜きました。決勝トーナメントは初戦敗退でしたが、対戦相手が準優勝したことで後腐れなく終えられました。これらの経験はかけがえないものです。努力の意義、多くの協力があった今日の自分がいるということを感じました。この感謝の気持ちを関係者の皆様に伝えたいと思います。ありがとうございます。



剣道部

感謝の気持ちで終えたインターハイ

三年 菅崎 風沙 「絶対インターハイに出る」。思えば、

この決意と共に始まった花巻北高剣道部生活でした。数々の試練と挫折を乗り越え、ようやく掴んだ高総体個人優勝。最後の礼をした瞬間、これまでの二年半の出来事が走馬灯のように駆け巡り、そしてすべて喜びと感謝の思いに変わり涙があふれました。

東北大会三位という栄光も勝ち取り、希望と自信に満ちた気持ちでインターハイに出場しました。二回戦敗退という結果に終わりましたが、負けた悔しさよりも、念願のインターハイという大舞台で思い切り試合することができた喜びと満足感でいっぱいでした。そして、剣道の楽しさを再確認することができました。これまで支えて下さった全ての方々へ感謝の気持ちを伝えたいです。本当にありがとうございました。



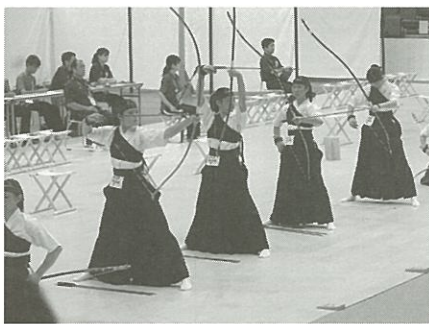
弓道部

東海インターハイに出場して

三年 兼平 朱里

私たちの学年は、二年生の時の選抜大会でも新人大会でも結果を残せず、悔しい思いをしてきました。最後のチャンスで九年ぶりの県高総体団体優勝を果たしてから、次は全国大会入賞を目標として、二ヶ月間必死で努力しました。桜雲同窓会からの応援が私たちの励みとなりました。特に弓道部OB会からは物心両面にわたるご支援をいただき、ここまで頑張ることができました。インターハイの舞台に立てたことは人生の中でもとても貴重な体験です。結果は期待に添っていませんが、私達は全力を尽くしました。これが今の私たちの実力でした。私達はこの結果を受けとめ前へと進みます。後輩たちが必ず全国の舞台で勝ち上がってくれるはず。今後とも花巻北弓道部への応援よろしくお願いします。

わたるご支援をいただき、ここまで頑張ることができました。インターハイの舞台に立てたことは人生の中でもとても貴重な体験です。結果は期待に添っていませんが、私達は全力を尽くしました。これが今の私たちの実力でした。私達はこの結果を受けとめ前へと進みます。後輩たちが必ず全国の舞台で勝ち上がってくれるはず。今後とも花巻北弓道部への応援よろしくお願いします。



放送部

高総文祭参加への感想

二年 釜本 慎ノ輔

二〇一八年の十一月初旬、私は昨年に続いて全国高総文祭参加への切符を手に入れました。二年連続の出場と言う異常事態を、未だに信じられません。然しながら、今回、また前回の栄誉も、先生方、また仲間達の応援や協力あつてのものであり、今回の受賞も現実と受け止め、努力していきます。

さて二度の高総文祭県大会の間には、NHK杯全国高校生放送コンテストがあり、その大会では全国大会への出場が叶ったものの県大会6位通過と、本意のものではなく、さが総文へ繋がる前回の県大会は、そのNHK杯県大会のリベン

ジの意味も含まれていました。さが総文まであと半年以上、時期的にも私の朗読家として最後の戦いになりますので、最後に相応しい「読み」を披露できるよう、これからも精進して参ります。



文芸部

受賞によせて

三年 館野 咲香

今回全国高校生文芸コンクール小説部門で優良賞をいただいた「満ちる」という作品は、部誌のテーマである「みち」を根幹に作成したものです。「みち」「満ち」、このテーマで執筆することが決まったとき、真っ先に連想したのが「命」で



した。そこで、「命が満ちる」「死」を題材として構想を練り始めました。しかし、生や死は明確な答えのない題材であるため、終始方向性に迷い、苦しみながら執筆活動となりました。同時に自分自身や周りの人々の命と向き合う良い機会ともなり、大きく成長できた時間ともなりました。

応援団規程の改定について

【規程改定の経緯】

2年生の中で10月から11月にかけて5回ほどの学年集会が開かれました。その学年集会を経ても、最終的に2年生からの幹部立候補は出ませんでした。1年生から立候補が出ている現状を踏まえ、2年生では立候補した1年生に幹部を託すことになりました。

◆11月21日に臨時生徒総会が開催され、左記のとおりに応援団規程が改定されました。

【規程改定点】

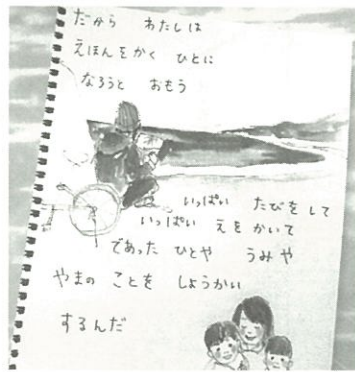
〈現行の規程〉

第4章 役員・組織
第10条 幹部は選出時における2年生男子で生徒会役員、校内各委員会委員との兼任はできない。団長は幹部の互選による。

〈改訂後の規程〉
第4章 役員・組織
第10条 幹部は原則として選出時における2年生男子とする。2年生男子からの立候補が10人に満たない場合に1年生男子からの立候補も認める。生徒会役員、校内各委員会委員との兼任はできない。団長は幹部の互選による。

した。そこで、「命が満ちる」「死」を題材として構想を練り始めました。しかし、生や死は明確な答えのない題材であるため、終始方向性に迷い、苦しみながら執筆活動となりました。同時に自分自身や周りの人々の命と向き合う良い機会ともなり、大きく成長できた時間ともなりました。

75期高橋海さん追悼作品展「娘・海の仕事展」



平成30年3月22日、不慮の事故で亡くなった、桜雲75期・高橋海さん(花巻市出身)の追悼作品展「娘・海の仕事展」が花巻市のなはんプラザで開催されました。(会期:平成30年11月1日~30日)

海さんは、花巻北高卒業後、金沢美術工芸大に進み、絵画や音楽など幅広い活動における作品を制作しました。3月に大学を卒業し、4月からは東京で絵本作家を目指す予定だったそうです。今回の展示会は、生前お世話になった方々への感謝をこめて、海さんの家族が企画したものです。関連イベントとして、音楽ライブや絵本朗読、花巻北高軽音部OBによる発表なども行われました。

平成30年度入試(平成30年3月卒業生)の進路状況

本校は、在校生のほぼ100%が上級学校を目標として勉学に励んでおり、昨年度も進学準備の22名、就職1名を除く全員が上級学校に進学を決めております。本校の特徴として、在学生がほぼ国公立大学を希望することと地元希望が多いことが挙げられます。その観点から見ると、国公立4年制大学に合格した者は、実数で全卒業生の内124名(55.3%)、その中で地元の岩手大学、岩手県立大学に合格した者は、それぞれ34名、13名(合計で47名、21%)となり、ほぼ例年と並ぶ成果をあげました。入学以来の推移を見れば、大いに努力は認められていい結果であったと思います。ただし、所謂「旧帝大系」と呼ばれる大学の合格者が例年より数を減らしたことは、今後の指導の課題とすべきことと思います。「不易」という言葉があるように、この花巻北高校に対する地域や県から期待はこれまでもこれからも変わらないものであると考えます。適性と希望と学力、さらに各自の条件等いろいろな要因が相乗して結果が導き出されることは論を待たず、進学や受験の環境が大きく変化し、また価値観がますます多様化する中で、一概に数字のみで成果を測ることは危険性を伴うことさえあります。しかしながら、「進路志望の達成のため努力を惜しまないこと」もまた、紛れもない師弟相互の「不易」のつとめとして日々邁進したいと思っております。同窓の諸先輩方のご鞭撻を今後ともお願い申し上げます。

(進路指導主事 田上洋一)

***** 平成30年度入試(平成30年3月卒業生)合格状況 *****

現役合格者〔過卒合格者数〕

(1) 国立大学

学校名	30年度	
	現役	過卒
北見工大	1	
北海道大	1	
北教大釧路校	1	
北教大函館校	1	
弘前大	5	
岩手大	34	3
東北大	6	
宮城教育大	3	
秋田大	5	
山形大	8	
福島大	10	
宇都宮大	1	1
埼玉大	1	
お茶の水女子大	1	
電気通信大	1	
東京学芸大	1	
新潟大	2	
小計	82	4

(2) 公立大学

学校名	30年度	
	現役	過卒
釧路公立大	6	
名寄市立大	1	
青森県立保健大	3	
青森公立大	5	
岩手県立大	13	2
宮城大	2	
秋田県立大	6	

秋田公立美術	2	
前橋工科大	1	
高崎経大	3	
横浜市立大	1	
都留文科大	2	
長岡造形大	1	
福知山公立大	1	
小計	47	2
国公立大現役総数	129	
国公立大現役実数	124	

(3) 私立大学

学校名	30年度	
	現役	過卒
札幌学院大	1	
北海道科学大	2	1
弘前学院大	3	
岩手医大	12	2
岩手保健医療大	6	
盛岡大	28	
仙台北百合女大	2	
東北学院大	23	1
東北工大	5	
東北福祉大	15	
東北医薬大	2	1
宮城学院女子大	1	
東北文化学園大	1	
いわき明星大	1	
秋田看護福祉大	1	
東北芸術工大	7	
尚絅学院大	4	

郡山女子大	1	
つくば国際大	1	
高崎健康福祉大	2	
千葉科学大	1	
亜細亜大	1	
慶応大	2	
工学院大	1	
江戸川大	1	
国学院大	2	2
国際医療福祉大	2	
国士舘大	1	
国立音大	1	
桜美林大	1	
秀明大	2	
昭和女子大	1	
城西大	4	
成蹊大	1	
青山学院大	3	
千葉工大	2	
大妻女子大	2	
文京学院大	1	
立正大	2	
関東学院大	7	
神奈川大	5	
専修大	1	
中央大	5	
津田塾大	1	
帝京平成大	2	
東海大	9	
東京農大	3	
東洋大	2	

日本工大	3	
日本大	6	3
日本薬大	3	
武蔵野大	1	
法政大	3	
明治大	4	
立教大	1	
日本体育大	1	
日本女子体育大	1	
日本医療大	1	
東京女子体育大	1	
淑徳大	1	
洗足学園音大	1	
東京経大	1	
東京成徳大	1	
金沢工大	1	1
中部大	1	
名古屋外大	1	
同志社大	6	
立命館大	2	
神戸山手大	1	
小計	225	11

(4) 国公立短期大学

学校名	30年度	
	現役	過卒
岩手県大宮古短	2	
岩手県大盛岡短	2	
山形県米沢女短	1	
小計	5	0

(5) 私立短期大学

学校名	30年度	
	現役	過卒
盛岡大短大部	2	
国学院大栃木短	1	
日本歯大東京短	1	
東京女子体育短	1	
小計	5	0

(6) 文部科学省所管外

学校名	30年度	
	現役	過卒
岩手産業技術短	3	
小計	3	0

(7) その他

学校名	30年度	
	現役	過卒
専門・各種学校	13	
公務員	1	
小計	14	0

(8) 医学部医学科合格者数

医学部医学科	30年度	
	現役	過卒
医学部医学科		1

※過卒合格者については学校に連絡があった者のみ

同窓会費納入状況

(平成30年12月31日現在)

期(卒業年)	残額(円)	期(卒業年)	残額(円)
31(昭和42年)	完	46(昭和57年)	360,000
32(昭和43年)	144,000	47(昭和58年)	完
33(昭和44年)	完	48(昭和59年)	完
34(昭和45年)	完	49(昭和60年)	360,000
35(昭和46年)	完	50(昭和61年)	360,000
36(昭和47年)	完	51(昭和62年)	135,000
37(昭和48年)	完	52(昭和63年)	510,000
38(昭和49年)	完	53(平成元年)	490,000
39(昭和50年)	完	54(平成2年)	510,000
40(昭和51年)	完	55(平成3年)	510,000
41(昭和52年)	380,000	56(平成4年)	290,000
42(昭和53年)	410,000	57(平成5年)	510,000
43(昭和54年)	25,000	58(平成6年)	190,000
44(昭和55年)	完	59(平成7年)	510,000
45(昭和56年)	340,000	60(平成8年)	510,000

※「卒業年」は、その年の3月卒を表します。(残額合計 6,544,000円)

同窓会費納入のお願い

桜雲同窓会は、同窓生の皆様に納めて頂いている会費と、在校生の入会金によって運営されており、少子化による生徒数減少が続くと、同窓会事業の運営にも支障が生じる恐れが考えられます。

今後の同窓会運営のために、各期理事を中心に、会費納入の仕組み、現状を周知して頂き、会費の納入に特段のご協力をお願いいたします。

完納した期や会費を納入していただいた期は、同期会開催の際に会費納入に協力いただき、欠席の方には代表幹事宛に送金をしていただく等、工夫をされています。

会費納入の仕組み

- ・【桜雲60期まで】卒業時に一人当たり、三千円を入会金として納入。(すべての期が完納)
- ・卒業後六年経過した時点より、各期年会費二万円を五十二年間納入。
- ・【桜雲61期以降】在学中に完納。(学年諸会費と一緒に納入)

桜雲同窓会事務局

事務局だより

今年度、新しく佐藤典夫教諭(46期)、切田壮教諭(52期)を迎え、二年間活動して参りました。八月四日の桜雲同窓会定期総会には約一四〇名の同窓生に出席を頂戴し、また14期の山折哲雄氏、関西桜雲同窓会長・宗教学者)の講演では「宮沢賢治と斎藤宗次郎」と題してお話を頂きました。支部総会も関西、北西、石鳥谷、盛岡、東京、東和、北支部とそれぞれの地区で行われ、活況の様子でございました。今後もASMSA海外派遣事業の継続や様々な事業が計画されていますが、同窓会としても協力していきたいと考えております。

来年度も引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願い致します。

平成三十年度
桜雲同窓会事務局 ◎は事務局長

- 佐藤典夫 教諭(46期) 体育
- 大竹信之 教諭(52期) 理科

~寄贈のご紹介~

- 山折 哲雄氏(14期)
・『老いと孤独の作法』
- 高橋 信雄氏(26期)
・『日本の古代遺跡 51 岩手』
・『祈りと遊び 花巻の人形の世界』
- 齊藤 毅憲氏(25期)
・『横浜市立大学論叢 第70巻第1号』
・『はじめて学ぶ人のための経営学入門バージョン2』
- 千葉 剛氏(29期)
・『Breakthrough Japan 躍進日本』
- 富澤 賢公氏(31期)
・『龍馬の「船中八策」
と台湾の政治改革』
- 戸来 正康氏(36期)
・野球部甲子園出場記念ペナント



保存版 創立80周年記念誌

「桜雲臺八十年」

平成24年3月1日発刊 [価格] 3,000円(送料込み)

お申込み

【桜雲同窓会事務局】
花巻北高等学校内 TEL.0198-23-4134

【業務委託先】
(株)菊忠印刷 TEL.0198-42-2511

- 切田 壮 教諭(52期) 英語
- 青木 貞 教諭(53期) 体育
- 齋藤 宗 教諭(54期) 体育
- 中村 忍 主事(56期) 事務
- 小田 智 子 教諭(59期) 英語
- 及川 実保 子 教諭(61期) 数学
- 川村 惟歩 貴 教諭(76期) 数学

2019年版桜雲同窓会員名簿

2019年11月発刊

会員の皆様に調査資料をお送りします。調査にご協力をお願い致します！

桜雲同窓会 定期総会

平成31年8月3日(土)
午後2時
ホテルグランシエール花巻

「桜雲臺」編集長 北山公路(43期)

最近の同窓会の動きとして面白いと思ったのは、東京桜雲会総会において花巻からの同時中継が実施されたことでした。長く故郷を離れていた方々には概ね好評だったようです。IT時代に乗った取り組みは新しい同窓会の形として今後も試されていくものと思います。もしかしたら近い将来、同窓会総会も同窓生向けにインターネット中継の形で行われるようになるかも知れません。なんらかの事情で当日参加できない同窓生も中継が見られると、情報をより広くお伝えすることも可能となるでしょう。

人と人とは顔を突き合わせてのコミュニケーションが一番ですが、地理的、経済的に難しい場合もITテクノロジーを使って多少はそのハードルを下げる事ができます。現役生のASMSA派遣事業が行われていますが、これも行き来するだけでなく、スカイプなどを使って交流頻度を上げることにより、関係を深めることが可能となるでしょう。情報多様化の時代、WEBもうまく利用して、同窓生の絆をより強めていければと思います。

2019年版の同窓会名簿整備が始まっています。インターネット時代とはいえ、同窓生を繋ぐ根幹となるのは同窓会名簿です。整備や購入など、ご協力をよろしく願います。

編集後記